

令和元年度 政策づくり塾 第4回活動報告

第4回(8月2日)は、各塾生が公共政策活動として取り組みたい活動について発表を行い、今後の塾活動で取り組む2テーマ(方向性)を決定いたしました。

第8期生「取り組みたい活動」の発表・グループ分け

今回は、各塾生が「塾活動で取り組みたいテーマ」について提案を行い、それぞれの提案について意見交換を行いました。その後、各自が取り組みたいテーマに投票を行い、今期に取り組むテーマが以下の2つに決定いたしました。

【決定したテーマ】

1. ワクドキスポーツチャレンジ

実施の目的: 若い世代の活気があふれるまちへ

企画内容:

- 市内の体育館で数種類のスポーツが気軽に体験できるイベントの開催
- オリンピックで行われる競技の中から普段はあまり体験することができないものを選び、実施
- 体験ができるスポーツの種類については、市内にインストラクターまたはその競技を行う選手がいるものを中心に開催
- 小学生とその親を対象としたイベント

企画実施によって得られる効果:

- 親子が同じ体験を行うことでコミュニケーションを図り、絆を深める
- 若い世代がスポーツを通して地域に出ることで地域の活性化につながる
- 幼いころから地域の人と関わっておくことで、大人になってから地元に戻りやすい環境をつくる

企画に対する質問:

- 舞鶴市の体育館を使用してスポーツ体験会を行う予定になっているため、実施できる競技が限られてくるのではないかと

→スポーツの試合として体験できるものはある程度限定されるかもしれないが、例えばカヌーであれば、そのボートを体育館に持ち込んで乗ってみるだけでもその競技を知ること、また、スポーツに挑戦してみたいというきっかけにはなるので、可能な方法で各競技の体験ができるようにしたいと考えている

2. 住民主体のまちづくりの検討会議「舞鶴みらい会議(仮)」の開催

実施の目的: 舞鶴市の地域愛の醸成、Uターン率の向上、市政・まちづくりへの住民参加

企画内容:

- 若者が気軽に集い、まちの将来についてゆるやかに語り合える「場」と「きっかけ」を創出する
- ※他塾生提案の「舞鶴版人生ゲーム」についてもみらい会議のコンテンツとして取り入れられるよう検討中

企画により得られる効果:

- 自分が理想とする舞鶴市を描き、情報共有することで舞鶴市での生活に関心をもつ機会となる
- まちづくりにもっと関心がある市民同士の仲間をつくる機会となる

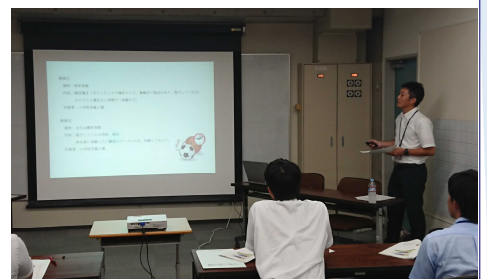
企画に対する質問:

- 実施の形式について、どのようにしようと考えているか
- ワークショップ形式で考えている。まちの予算や人口等、一定の条件を与え、その条件のもとまちづくりについて考えてもらう

【先生からのメッセージ】

テーマの提案を受け、窪田塾長から塾生に対して、「12月中の企画実施を目指して、グループ内で役割分担を行い、活動を進めてほしい」とのメッセージが送られました。

※その他のテーマのプレゼンは別紙に概要を掲載しておりますので合わせてご覧ください。



▲プレゼンの様子